

ニホンナシの収穫期予測

<気温経過と生育>

本年は、3月から4月中旬にかけての気温が平年より高く推移したことから、主要品種の発芽は平年と比べて8日程度早く、満開日は10日程度早いなど、生育が大幅に前進した。5月上中旬の気温は平年と同じかやや低く推移したため、満開後30日間の平均気温は平年よりも0.1~0.4℃低かった(表1左)。

<収穫期の予測>

「幸水」、「豊水」および「南水」の成熟日数はそれぞれ満開後125日、142日および154日であり、本年の収穫始めはそれぞれ8月16日、8月29日および9月8日と予測される(表1右)。なお、これらの予測日は満開後30日間の平均気温を基に算出した。収穫適期の判断は、各品種の満開後日数を目安に成熟状況(果皮色、内部品質)を確認して行う。

表1 ニホンナシ主要品種の収穫始期の予測 (南信農業試験場、2026年)

品 種	満開日		満開後30日間の平均気温(℃)		収穫始め				
	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年 (予測)	平 年	平年差	昨年実測	昨年差
幸 水	4/13	4/23	14.5	14.9	8/16	8/23	- 7	8/14	+ 2
豊 水	4/9	4/20	14.3	14.4	8/29	9/7	- 9	8/28	+ 1
南 水	4/7	4/18	13.8	14.2	9/8	9/17	- 9	9/9	- 1

予測値は満開後30日間(満開日含む)の平均気温(南信農業試験場内)から算出した(ーは早い、+は遅い)。平年値は平成13年~令和2年(2001~2020年)までの20年間の平均値。この予測は2026年5月20日現在の予測であり、今後の気象の推移により変動する。

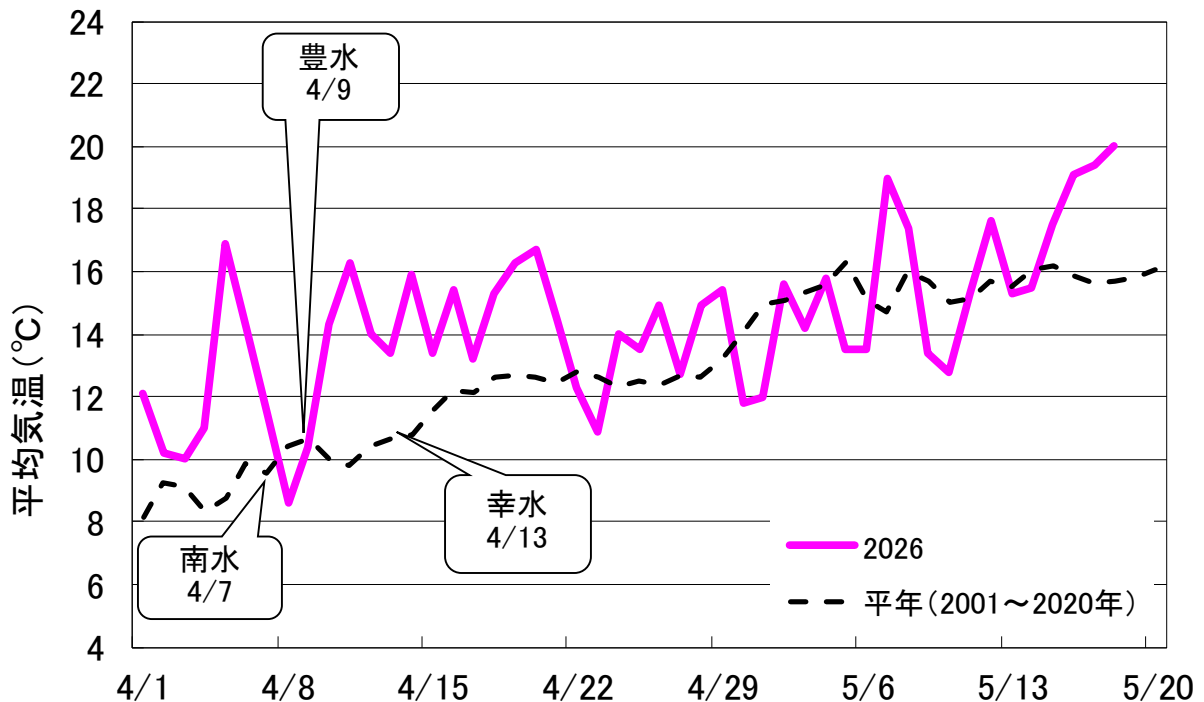


図1 主要品種の満開日(吹出し内)から幼果期にかけての平均気温 (南信農業試験場、2026年)